

広げよう強いきずな 築こう強い組合 ～いのちを育てる協同の力～

ながめま

8

2025

No.378



小麦収穫作業

— 29区 中村 健さん ほ場 —

HTB朝の情報番組イチモニ!の企画 「イチモニ!農園」での長沼産野菜紹介について



イチモニ!農園2025において、長沼産野菜を取り上げていただきました。HTB田口彩夏アナウンサー自らが播種から収穫に至るまでの作業を担い、毎年テーマとなる品目を掘下げていくことが主な内容であり、本年はブロッコリーを中心に一部トマトを題材として取り上げていただき7月1日に初回、16日に第2回が放送されました。7月15日から期間限定で取組む

GARAKUとのコラボ企画も番組内で紹介いただくなど充実した内容で想定以上の反響を頂いているところです。次回は8月中旬以降に3回目の放送が予定されております。なお、各放送日の午後には番組公式YouTubeにもアップされます。こちらも注目を頂いており再生回数も上々の推移となっております。



MOREベジット×GARAKU 企画経過報告

前号でもお伝えしました標記の件につきまして、7月15日から7月末日の期間において実施致しました。

国内外に店舗展開しレトルト食品も全国的に人気が高いGARAKUさんとのコラボレーション企画は、イチモニ農園でも取り上げていただきテレビやYouTubeでの宣伝を打ったなかでスタートすることができました。

今回は札幌市内の直営4店舗で実施され、関係各位からも大変好評を頂くなど充実した取組み成果を得ることができました。GARAKUさんとは今後も様々な企画を展開させていただく予定です。

今後においてもこの様な企画を順次展開し産地ブランドの認知拡大を進めて参ります。



いちご共選開始

いちごの共選が6月22日(日)にスタートしました。日量500〜700パックが選別され道内外の洋菓子業態やアイスクリームなど様々な用途に向けた原料として出荷されています。

国内ではいちごの生産面積減少が年々加速しており、国産の価値がより高まっているなか消費地からの期待も大きく本年も東京や大阪を中心に供給されます。



廃ビニール類、廃プラスチック類の回収を実施

6月24日(火)から26日(木)までの3日間、農業用廃ビニール・廃プラスチックの回収を麦バラ施設構内で実施しました。回収実績は、廃ビニール約62t、廃プラスチック約79tとなりました。

今回の廃ビニール類、廃プラスチック類の回収は11月を予定しております。



クレーンで回収の様子

JA野球大会

6月24日（火）第65回空知管内JA野球大会が岩見沢市にて開催されました。

大会1日目第2試合

JAながめま対JAいわみざわ 10:45開始
試合結果 0対15回コールド敗退

残念ながら敗退となりましたが、猛暑の中、選手の皆さんはハツラツとしたプレーを見せ、最後まであきらめずに頑張りました。お疲れさまでした。

また、常勤の方々からも選手に厚い応援を送っていただきました。ありがとうございました。

次年度の開催に向けて、選手一同一丸となって頑張ります。



ながめまクリーンライス生産協議会 水稻直播講習会開催

6月27日（金）に15区谷口利信氏圃場にて生産者13名が参加の下、水稻直播講習会が開催されました。

普及センターの早勢専門普及指導員、JAながめまの村井営農コンサルタントを講師に迎え、直播栽培による栽培手法や雑草



対策について説明をいただきました。質疑応答では、農業者より「乾田直播においての播種日の適期はいく頃か。」と質問があり、早勢専門普及指導員は「理想は4月中旬から5月のGWくらいまでが適期」と述べられ、大変有意義な講習会となりました。

台湾に向け ブロッコリーを輸出

7月8日（火）に本年1回目の輸出を行いました。以後、週1回1台のペースで7月末まで台湾向け輸出を継続し、平成30年から始めたこの取組みも様々な段階を経てようやく目的とする形態に至ることができました。

高温干ばつにより例年以上に厳しい生産環境となりましたが、出荷時には現地量販店関係者も立会い品質等を確認、苦小牧港での検疫もクリアし無事出港に至りました。国内における供給過剰期の価格底上げも目的ではありますが、この取組みについては各方面から注目を頂いており産地ブランドのさらなる向上にもつながっております。生産者所得拡大に向けた取組みの一つとして次年度以降も順次取り進めて参ります。



第3期種馬鈴しよ防疫検査

7月9日（水）、令和7年産種馬鈴しよ第3期防疫検査が実施されました。

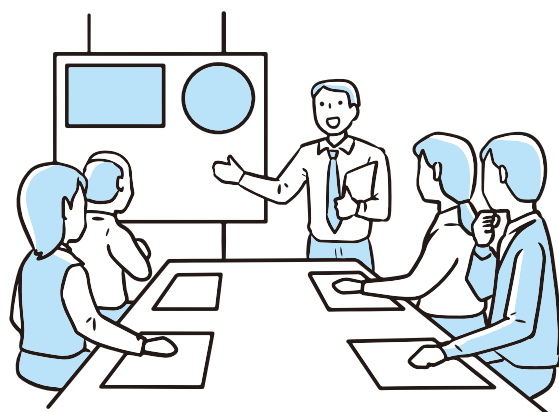
横浜植物防疫所の検査官により病害虫の有無などが厳しく検査された結果、本年も圃場全筆合格となりました。



米穀事故防止研修会開催

7月9日（水）、農産物の出荷最盛期を迎えるにあたり、柴田代表理事組合長より施設稼働前の安全作業の訓示に続き、「施設事故防止研修会」をJA並びに（株）FAMO長沼生産施設担当者総勢20名の参加のもと開催されました。

研修会にはホクレン農業協同組合連合会岩見沢支所より講師をお招きし、「施設運用の作業安全について」「小麦入庫品に対する虫害対応について」「米穀事故・クレームについて」の重点項目につき説明を頂き、有意義な研修となりました。



ながめまクリーンライス生産協議会 水稻現地研修会講習会開催

7月10日（木）に29区中村健氏圃場、24区柴田佳夫氏圃場、3区鳥井昌幸氏圃場にて生産者計25名が参加の下、水稻現地研修会が開催されました。

普及センターの早勢専門普及指導員、JA



ながめまの村井営農コンサルタントを講師に迎え、幼穂形成期～出穂期の水管理・病害虫防除について説明がありました。質疑応答では、農業者より冷害危険期においての注意点やドローン防除の適期についての質問が各地区でありました。実際に採捕したカメムシを見ながら、防除に対する意識を高め合い、大変有意義な講習会となりました。

青年部活動報告



乾杯の首頭をとる木村部長

◆青年部バーベキュー交流会開催！

7月4日（金）低温倉庫下屋にてバーベキュー交流会を開催しました。
当日は青年部や農協職員に加え、燃料センター、フレッシュミズ、商工会青年部に加え、今年は地域おこし協力隊の皆様にもご参加いただきました。
交流会内ではビンゴ大会も行われ、数字が発表されるたびに参加者の皆様は一喜一憂しておりました。
農繁期を控え忙しさが増す時期でしたが、互いの苦労を労い、交流を深める貴重なひとときとなりました。

◆ほ場見学及び農業機械見学
7月7日（月）長沼小学校の3年生が、29区・株式会社ファーム服部にて青年部食育事業の一環として「ほ場見学及び農業機械見学」を行いました。
黄金色に輝く麦畑や、6月に学校内の畑では種した経験のある大豆の畑を見学し、日頃口にしている食べ物への生育を実感していただきました。
また、自分の背丈の何倍もある農業機械を間近で見学し、実際に運転席に座るなどの体験を通じて、農業機械の大きさや迫力を実感していただきました。
当日は気温が30℃近い暑さの中での見学でしたが、熱心に観察していました。



コンバインを見学する様子



笑顔で対応する木村部長

◆青年部が地下歩行空間にてブロックリーの直売を実施

7月10日（木）青年部は札幌市の地下歩行空間にてブロックリーの直売を行いました。
今回の直売は長沼町産ブロックリーのPRと10月4日に行われる収穫祭の告知を目的とし企画しました。
部員が育てたブロックリーを1玉150円の特別価格で販売し、用意していた、240玉が2時間で完売するなど、大盛況に終わりました。
多くのお客様に長沼町の農産物の魅力を伝えることができ、有意義なPR活動となりました。

消防避難訓練を実施

7月15日（火）と16日（水）の2日間、消防法施行令により年2回の消防訓練の実施が義務付けられていることから、本所生産資材事務所、本所事務所・Aコープがぬま店において通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

火災報知器の非常ベルを鳴らし、火元の確認、初期消火活動、消防署への通報と事務所・店舗内での避難誘導の訓練を実施しました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導により水消火器を使って消火作業を行い、万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



小麦採種組合ほ場審査

6月6日（金）に第1期、7月7日（月）に第2期ほ場審査が実施され、収穫・出荷に向けての注意点を普及センターの古館係長と菅原専門主任から確認を行いました。

採種組合の方々が生産された種子は、調製・種子消毒の工程を経て皆さんのもとへ配送されます。



第2期審査



第1期審査

大豆採種組合ほ場審査

7月18日（金）に第1期ほ場審査が実施され、第2期ほ場審査に向けての注意点を普及センターの古館係長と菅原専門主任から確認を行いました。
9月に第2期圃場審査を予定しております。



第1期審査

不要農機具・タイヤ等を回収いたします！

■回収日時～ 令和7年9月3日(水)(1日のみ)
午前9時～午後2時
■受入場所～ JAながめま 農協16号倉庫奥

無料回収農機具

トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機、作業機、鉄材(ハウスパイプ・金具)、アルミ材、バッテリー(木製農機具は回収できません)

有料回収品

タイヤ

■タイヤ回収料金(消費税込) ※下記以外のチューブ、フラップは110円/1本。また、大型のタイヤ、キャタピラ、トラクタータイヤは別途料金となります。おおよそ11,000～33,000円/1本

	タ イ ヤ		タイヤにホイル、汚れ、土砂、靱殻等あり	
	夏タイヤ スタッドレス	スパイク	夏タイヤ スタッドレス	スパイク
乗用車	330円	440円	660円	880円
2t～4t・4WD	660円	880円	1,100円	1,320円
11t	1,320円	1,540円	1,980円	2,200円

回収に当っては…

- 各組合員が各自で積み込み搬入をすることを基本とします。
- 搬入される方は別途申込みが必要となります。
- ガソリン、バッテリー、オイル等は完全に除去してから搬入願います。
- ガスボンベは回収できません。
- 搬入時には、「産廃運搬車」と表示をお願いいたします。

お問い合わせ

主催は農機具とタイヤで
各々異なりますが、いずれ
も不明点等については
下記までご連絡ください。
本所資材センター
TEL 88-2307

JAながめま担い手支援事業の申請期限についてご案内

本事業については JAながめま担い手支援事業と、長沼町がんばる農家支援事業とが一体となり進めておりますが、本年が実施期間の最終年となっておりますので **申請希望の方は8月29日までにお申し出下さい。**

尚、事業の詳細については JAだより4月号をご確認下さい。

お問い合わせ 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

不要農薬回収のお知らせ

皆さまが購入した未使用のまま長期保管している不要農薬を生産現場から一掃し、安全・安心な農産物を生産するため不要農薬の回収を実施しますのでご案内いたします。

- ◆**申込期日** 令和7年8月13日(水)まで 申込書を資材センターへFAXしてください
- ◆**回収日程** 令和7年8月22日(金) 午前9時～午後4時まで(全地区)
- ◆**回収場所** 本所資材センター
- ◆**注意事項**
 1. 印鑑と委任状を持参願います
 2. 包装が破損している場合については飛散しないよう、袋などに入れてください。
 3. 不明農薬(ラベルのないもの、品名の判読ができないものなど)は回収できません。
 4. 処理費用の精算については、確定金額を通知後経理となります(12月上旬予定)

不要農薬処理一覧表

(kg当り・税別)

農薬区分	処理料金	農薬区分	処理料金
一般農業	910円	チラウム	20,500円
硫 黄	1,200円	シマジン	20,500円
ヒ 素	20,500円	ベンチオカーブ	20,500円
水 銀	20,500円	ポップス	20,500円
鉛	20,500円		

【一般農薬】

硫黄、ヒ素、水銀、鉛、チラウム、シマジン、ベンチオカーブ、ポップス、PCP、PCNBの成分を含まない農薬。

お問い合わせ先 本所資材センター TEL88-2307 FAX88-0748

◆◆◆ 営農資材課 よりお知らせ ◆◆◆

肥料取りまとめの秋取り肥料(10月～12月納品分)の変更期日は **9月15日** までとなっております。

変更のある方は、本所資材センターまでご連絡ください。

お問い合わせ

ながめま農協資材センター TEL 88-2307

(2)播種期と播種量の目安(大豆落葉前)

品種、播種時期による10a播種量が異なります

品 種	9月1～5日	9月6～10日	9月11～15日
きたほなみ	7～8kg	9～10kg	11～12kg
ゆめちから	10～11kg	12～13kg	14～15kg

※要注意

生育良好な大豆ほ場における9月5日前の「きたほなみ」播種量は、8kg/10a以下としてください。
ただし、枕地などの発芽しづらい部分は目安より5割程度多く播種しましょう。

(3)混麦防止

春まき小麦収穫後の同一ほ場における秋まき小麦の播種および、秋まき小麦品種変更による小麦連作栽培は、混麦発生が極めて高くなります。

最近の混麦事例では、大豆1作後(間作)でも多くの野良生え小麦による混麦発生が確認されています(写真)。

品種変更する場合は、同一ほ場において小麦以外の作物を2年以上栽培し、小麦の野良生えを極少なくし除去する方策が必須です。小麦の品種変更へは3年以上先を見込んだ作付け計画が必要です。



写真 混麦発生ほ場の状況
「ゆめちから」ほ場に「きたほなみ」

秋まき小麦「きたほなみ」から秋まき小麦「ゆめちから」へ変更例

	1作目 (1年目)	2作目 (2年目春)	3作目 (3年目春)	4作目 (3年目秋)
体系1	小麦「きたほなみ」	大 豆	大 豆	間作小麦「ゆめちから」
体系2	小麦「きたほなみ」	大 豆	野 菜(8月収穫)	小麦「ゆめちから」
体系3	小麦「きたほなみ」	大 豆	馬鈴薯(8月収穫)	小麦「ゆめちから」

注 1作目小麦収穫後、緑肥栽培や緑肥栽培終了後に野良生え小麦を除草処理する

8～9月の

「秋小麦栽培」のポイント



1. 収穫後のほ場管理

(1)麦稈処理と雑草対策

麦稈は、速やかにほ場から搬出し、残った麦稈は細断後、浅めにすき込む。

雑草発生ほ場では、麦稈すき込み10日程度後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2)排水改善

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破砕、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(3)土壌pHを確認し、pH5.5～6.0を目標に

土壌診断によりpHを確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。

※pH6.0矯正への炭カル施用量 (kg/10a 改良深10cm)

測定値 (pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤 土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴 土	424	338	255	169	43

※アレニウス氏表による酸性矯正より（腐植程度：含むの場合）

(4)緑肥作物栽培で土づくり

小麦収穫後から8月中旬までに、緑肥をは種し土壌構造改善を！

緑肥作物の例

種類(品種)	10a播種量	10a施肥N量	すき込み時期
エン麦(スワン)	15～20kg	4～6kg	10月上旬
エン麦野生種(ハイオーツ)	10～15kg	5kg	10月上～中旬
シロカラシ(キカラシ)	2～3kg	5kg	10月上旬

※次作アブラナ科作付予定の場合は、シロカラシは使用しない

2. 大豆間作小麦の播種

(1)大豆の生育不良ほ場での大豆間作小麦の作付可否の判断

大豆の生育不良ほ場で間作小麦の播種は、発芽不良を起こしやすく、最悪の場合は廃耕につながります。
次の判断方法（例）を参考に検討しましょう。

※大豆間作小麦作付の判断方法（例）

- 判断時期：8月25日～9月1日頃
- 判断方法：生育良好（茎長35cm以上）・・・間作小麦可能
生育不良（茎長35cm以下）・・・間作小麦は種後、畦間カルチ処理
生育不良・雑草多発・・・間作小麦は中止

2. カビ莢・腐敗粒対策

8月中下旬以降の天候によっては、カビ莢・腐敗粒の多発が予想されます。特に、生育の早い大豆は薬剤防除を必ず行い、腐敗粒・被害粒の発生を軽減しましょう。

【発生しやすい条件】

収穫始期9月上旬頃の気温が高く、多雨に遭遇すると、種子にカビが発生する危険性が高く、品質が劣化します(表)。

風雨にもまれるなど、傷が生じることで、感染被害が大きくなります。

小粒種「ユキシズカ」など莢割れが少ない大豆は被害が少ないが、中粒種で莢割れしやすい大豆では、腐敗粒被害が発生しやすくなります。



写真 カビにより莢・茎が黒変

表 道央における「ユキホマレ」のは種期と収穫時期気象条件によるカビ粒発生率

平成12年 北農研センター

は種日	成熟期 (月日)	降水量 (mm)	平均気温 (℃)	カビ粒率 (%)
5/18	9/18	80	20.4	30.1
5/20	9/28	84	18.8	3.1
6/8	9/29	69	18.7	0.8

降水量：成熟期14日前から成熟期までの積算値

平均気温：成熟期14日前から成熟期までの積算の平均値

【カビ莢・腐敗粒防除の目安】

※8月15～9月5日 収穫20～30日前に下記の殺菌剤処理が効果的です

※8～9月が高温多雨の場合 複数回防除 間隔7～10日

主な大豆登録殺菌剤

RACコード	農薬名	使用倍率	使用時期	使用回数
7	ミリオネアフロアブル	4,000倍	収穫前日まで	4
11	アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	2

3. 雑草対策

草丈1～1.5mに達するような大型シロザ（アカザ）やオオイヌタデなどの広葉雑草が優先して大豆の草丈を覆い尽くすと大きく減収や汚損粒の発生原因になります。

雑草が1m以上になると畦間・株間処理はできません。大豆の草丈以下のうちに雑草抜き取りほ場から搬出しましょう。

【大豆栽培におけるグリホサート剤収穫前処理について】

- 「落葉終期～収穫14日前」での使用は、品質低下ならびに適用外となるリスクがあることから使用を控えることとする。
- 上記登録内容で使用した場合、JAの大豆共計では取り扱わないこととする。

※北海道農協畑作・青果対策本部決定方針（継続）

8～9月の

「大豆栽培」のポイント



生育が平年より4～5日早い 害虫の発生 要注意！！

1. 害虫防除

(1)マメシクイガ防除

今年大豆は、は種および出芽時期によって開花時期が異なります。

5月中下旬は種の生育 …… 開花始：7月7日 開花期：7月10日

莢の伸長を確認しマメシクイガの適期防除を行い、被害粒の発生を減らしましょう。

【防除の目安】

1回目：開花始めから13～14日後頃

2回目防除 生育の早い大豆 8月1日～5日

生育の遅い大豆（5月下旬～6月は種） 8月5日～10日

3回目：2回目防除の7～10日後頃

(2)カメムシ防除 …… 今年は8月中旬に3回目防除で対応しましょう

近年カメムシによる加害が多く見受けられます。大豆子実を加害する時期は、カメムシ類の種類によって若干異なりますが、8～9月に発生した新成虫が加害します。8月中下旬に防除を行いましょう。

特に、雑木林や雑草地が近隣にある場合は、要注意です。

最近8月の気温が平年より高い場合は、平地でも多発しています。

＜防除例＞

散布時期	RACコード	農薬名	使用倍率	効果発現	残効性
マメシクイガ 1回目 7/25	28	プレバソンフロアブル5	4,000倍	速	長
マメシクイガ 2回目 8/5	3A	ゲットアウトWDG	3,000倍	速	中
	3A	又はバイスロイド乳剤	1,000倍	速	長
カメムシ 8/15	3A	バイスロイド乳剤	1,000倍	速	長
	4A	又はモスピランSL液剤	3,000倍	中	長
腐敗粒 8/15	7	ミリオネアフロアブル	4,000倍	—	—

※プレバソンフロアブル5は、「カメムシ」に対する防除効果が低い。

※効果発現、残効性は、「くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイド」を参考とした。

(3)ハダニ発生防除

高温(30℃を超え)乾燥は、ハダニの発生を助長します。葉の裏が蜘蛛巣状に見えると、ハダニが発生していると思われます。特に、風通しが悪い、雑木林や雑草地が近くにある場合は要注意です。以下の農薬は、マメシクイガ・カメムシ類との同時防除が可能です。

農薬名	RAC	使用倍率	使用回数	使用時期
カスケード乳剤	15	4,000倍	2回以内	収穫7日前まで
トクチオン乳剤	1B	1,000倍	3回以内	収穫30日前まで

農業の明日をひらく北海道農業会議が
ラジオ番組を提供中！

きょうのお天気と 農家さんへの 病虫害情報

農家の皆さんの毎日のお仕事に
役立つお天気と病虫害発生情報をお届けしています。

STVラジオ

5月19日(月)～
9月19日(金)

番組内でコマーシャル放送中！
農家の皆さんの年金

農業者年金

放送時間が変わりました
月曜～金曜
朝6時28分から

- 農家の皆様とご家族を力強くサポート！
- 条件により保険料の国庫補助あり！
- 少子高齢時代に強く安定した年金です！
- 終身年金で80歳までの保証付き！
- 税制の優遇措置があります！
- 保険料の額を選ぶことができます！

詳しくは
農業委員会
またはJAへ

8月の

「水稻栽培」のポイント



生育平年より5日早い

1. 水管理

(1) 登熟期前半の水管理

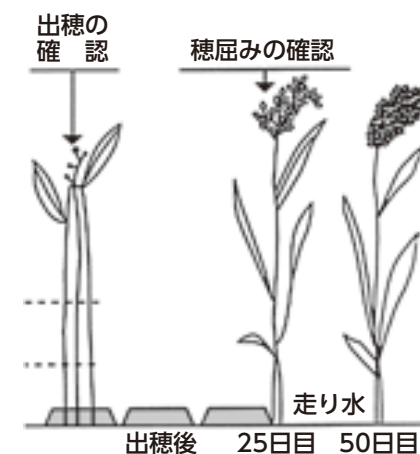
- ① 出穂・開花が始まったら即入水！
開花・受精後、米粒は急速に生長します。
- ② 間断かんがい
出穂後は速やかに入水、土壌水分を確保し、浅水管理又は間断灌漑を行いましょう。

(2) 登熟期後半の土壌水分管理

- ① 落水後の水管理
田面に長靴のかかと跡が1cm程度つく状態に排水良好田は、用水の断水前に、5～10cm湛水し土壌水分の維持を図りましょう。
- ② 土壌別に落水時期を決めましょう！
ア 排水良好田
出穂期後25日頃まで間断灌漑、その後落水。
イ 排水不良田
出穂期～出穂揃に落水し、根の活力を維持し、1cm以上のヒビが入る前に必ず走り水を実施。

(3) 高温継続の時

速やかな入水による、浅水管理、又は間断かんがいと土壌水分を維持(掛け流し)



出穂期	乳熟期	糊熟期	黄熟期	成熟期
	登 熟 期			
入水・間断かんがい 適期落水とその後の走り水管理				

2. 病虫害防除

(1) いもち病

出穂防除後、予察で発生していない場合は、2回目の防除は省略可能ですが、葉いもちの発生が多く出穂が長引く場合は、出穂が完了するまで7日間隔で追加防除します。

(2) カメムシ防除

カメムシの発生は例年より多いです。

カメムシ(アカヒゲホソモドリカスミカメ)基幹防除は、必ず出穂期とその後7～10日の2回です。茎葉散布3回目以後の追加防除は、散布予定日(7～10日間隔)の2～3日前に水田内のすくい取り調査(20回振り)を行い、品種と要防除水準(表2)に応じて防除実施しましょう。

表1 いもち病およびカメムシ防除農薬例

防除時期	出穂期	出穂期防除後7～10日	
主な農薬	(いもち病・カメムシ) ダブルカットレボン ビームエイトレボン ブラシダントツ	(カメムシ) スターフル キラップ ダントツ	(いもち病) ブラシン

※10a当使用量および使用倍率など詳細は、令和7年度水稻栽培基準を参照

表2 カメムシ追加防除の要防除水準(捕虫網20回振りカメムシ頭数)

割刈率	高い	中程度	低い
品 種 名	ななつぼし	ゆめぴりか きらら397	そらゆき きたくりん
出穂10～12日後 (追加防除の2～3日前)	1頭	2頭	3頭

※割刈率は、割刈歩合基準品種でランク推定した



ドローン総合保険

万が一のドローン機体の損害や
第三者への法律上の賠償責任に備え、
「農林水産用ドローン総合保険」をおススメします！
是非、ご加入をご検討ください！

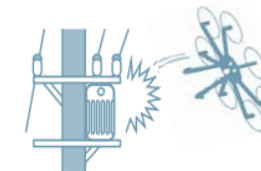
ドローンの活用にはこんな**リスク**が！



動画はコチラ

機体事故 事故例

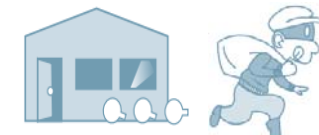
操作誤りにより
架線と接触し、
機体が破損した。



フライト中、機体に雷を
受けて操縦不能になり
落下し破損した。



倉庫に保管して
いたドローンが
盗難にあった。

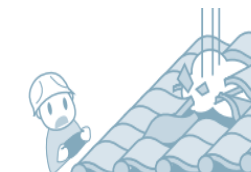


フライト中に機体が
行方不明になり
捜索のため、交通費や
宿泊費がかかった。



賠償事故 事故例

操作誤りにより
機体が民家に衝突し、
屋根を壊した。



着陸時に目測を誤り
歩行者に接触し、
ケガをさせた。



農薬がドリフトにより、
農作物に損害を与えた。



操作誤りにより
鉄道の線路に落下し、
鉄道に遅延損害を
与えた。



補償内容、保険料目安は左面をご覧ください。

5つのポイント

ポイント1. 事故がなければ翌年の保険料が割安に！（機体補償）

この保険契約の保険料は、事故の有無により変動する等級制度を採用しています。
事故がなければ、翌年継続時の更改保険料がお安くなります。
※－7 等級～－10 等級の更改保険料は同一となります。

ポイント2. 新価（再調達価額）で保険金をお支払い！（機体補償）

この保険契約の保険金額は、保険の対象となるドローンの機体の新価で設定しますので、万が一の事故の際は、新価をもとに保険金をお支払いします（支払限度額を設定した場合は、その限度額が上限となります）。
新価での保険金のお支払いなので、－10 等級から 0 等級の契約で、初回事故の場合修理代や買換費用の持ち出しがありません。
※新価（再調達価額）とは保険の対象であるドローンと同一の質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに要する額をいいます。

ポイント3. 3機以上の契約をまとめることで保険料を5%引き！（機体補償）

1 保険証券で 3 機以上のドローンを契約する場合に「多数契約割引」を適用し、保険料を 5 % 割り引きします。

ポイント4. 農薬の飛散等のドリフトリスクも対象に！（賠償責任補償）

農薬や肥料の散布、種子の散播について、風に流され、隣接する隣家の農作物に被害を与えた場合などのドリフトリスクも補償の対象にしています。

ポイント5. 様々な特約を自動付帯！（賠償責任補償）

他人に迷惑をかけた場合に負担する法律上の賠償責任について、様々なケースに対応できる各種特約をセットしたプランをご用意。

保険料目安

<試算条件>

- 新規契約
- 機体補償：新価（再調達価額） 代位求償権不行使特約・臨時費用補償特約付帯なし 多数契約割引適用なし
- 賠償補償：支払い限度額 対人・対物共通 1 名/1 事故/期間中 1 億円（プランA：10,720 円）

機体金額（※1）	機体補償（※2）	賠償補償	初年度契約保険料
100万円	●	●	69,720 円
		×	59,000 円
150万円	●	●	99,220 円
		×	88,500 円
200万円	●	●	128,720 円
		×	118,000 円
250万円	●	●	158,220 円
		×	147,500 円
300万円	●	●	187,720 円
		×	177,000 円

●：補償あり ・ ×：補償なし

（※1）機体金額に含まれる主な付属品：機体本体、プロポ、バッテリー、散布装置 等

（※2）機体補償保険料計算式（新規0等級の場合）：機体金額（円）/1,000円×59円



ご契約時必要書類

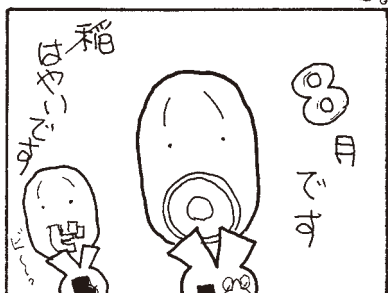
- 機体購入時の「納品書」等、機体の購入年月日（中古機体の場合は製造年月日）が把握できる書類
- 「農林水産用ドローン総合保険契約に際しての報告書」

◆補償内容は「農林水産用ドローン総合保険」パンフレット（PE112000）とあわせてご覧ください。ご不明点につきましては、取扱代理店または共栄火災営業店にお問い合わせください。

◆このチラシにおける「農林水産用ドローン総合保険」は動産総合保険と施設賠償責任保険（ドローン【農林水産用】特約付帯）のセット商品です。

共栄火災海上保険株式会社（引受保険会社）
北海道支店 岩見沢支社
住所：岩見沢市 5 条東 5 - 2
電話：0 1 2 6 - 2 3 - 3 0 4 9

お問い合わせ先（取扱代理店）
ながめま農業協同組合 金融部 共済課
住所：夕張郡長沼町銀座北 1 丁目 5 - 1 9
電話：0 1 2 3 - 8 8 - 2 2 2 5



【年金友の会】 事業参加申し込みご案内

第27回ながめま農協年金友の会 ゲートボール大会

場 所／コミセン屋内ゲートボール場
実 施 日／令和7年9月10日(水)
申込期日／令和7年8月19日(火)迄

道外研修旅行

行 先／沖縄本島 2泊3日
実 施 日／令和7年11月25日(火)
～27日(木)
申込期日／令和7年9月10日(水)迄

多数の参加をお待ちしております。

各申し込み・お問合せ

年金友の会事務局 金融部貯金課 高崎
電話 88-2224

読者に寄り添い
より身近で活用しやすく

「食と農」「暮らし」「協同」「家族」を柱に
「人生100年時代」の元気づくりを応援していきます!

誌名	2025年 8月号までの定価(税込)	9月号からの 新定価(税込) ※毎号統一価格
家の光	普通月号 629円 特別月号(1・4・5・7・9月号) 922円 12月特別号 1,027円	900円

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <https://www.ienohikari.net/>

リンナイフェア開催記念買替フェア2025

夏のながめまロングランガス展2025

8.18(月)～8.29(金) Aコープながめま店 北口通路

ビルトインコンロ

SENCE



RS31W36T2RVW 希望小売価格：183,700円(税込)

特別価格：71,500円(税込) 工事費別途

3台限定で
プレートついてくる!

今だけ!

幅60cm

SAFULL+



RHS21W40P38YGWW 希望小売価格：233,200円(税込)

特別価格：115,200円(税込) 工事費別途

シニア世代のための
安心・安全機能付き!

付属品



レンジフード



TLR-3S-AP602SV
希望小売価格：136,400円(税込)

特別価格：85,200円(税込) 工事費別途

ノンフィルターだからお手入れ簡単!

ワンタッチ
着脱ファン

ノン
フィルタ

LED照明

ノンフィルタだから
お手入れカンタン♪

幅：60cmタイプ
カラー：シルバー



OGR-REC-AP602 LSV
希望小売価格：257,950円(税込)

特別価格：161,000円(税込) 工事費別途

ディスクを洗うだけ!
10年間お掃除不要!



幅：60cmタイプ
カラー：シルバー

テーブルコンロ

LAKUCIE fine



RT66WH1RGA-BA 希望小売価格：97,900円(税込)

特別価格：48,400円(税込)

ココットプレートで
お掃除ラク!

付属品



ガス炊飯器



特別価格：32,400円(税込)

保温機能つき!
ガスだから
美味しい!

こがまる
RR-050VQ(DB)
希望小売価格
42,900円(税込)

●お問合せはこちらまで

(株)FAMO長沼 燃料センター

北海道夕張郡長沼町銀座北1丁目5-1 TEL:0123-88-2015

理事会報告 - 第8回 -

《令和7年7月14日開催》

〔議案〕

議案第1号 第1四半期自治監査講評

議案第2号 共同計算の精算について

議案第3号 組合員の出資減口について

〔報告事項〕

1. 会議・行事等の報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 農作物生育状況等について
4. 経営所得安定対策の申請状況について
5. 野菜・花き市況等の状況について
6. 内部監査報告について
7. 子会社第1四半期の状況について
8. その他

以上、すべての議案について審議し
原案どおり承認されました。



農協の動き 6/26～7/14

6月	26日	無通告監査(常勤監事・内部監査室)	於 米穀産課(農業倉庫)
	30日	麦バラ施設運営協議会・自主検定委員会	於 農 協
	30日	粳バラ施設運営協議会	於 農 協
	30日	事業推進員会議	於 農 協
7月	2日	長沼町水祭り	於 長 沼 神 社
	3～15日	経営所得安定対策現地確認	於 生産者圃場
	7日	南空知地方安全運転管理者事業主会栗山支部 理事会・通常総会	於 栗 山 町
	9日	種いも第3期防疫検査	於 種いも圃場
	9日	施設事故防止研修会	於 農 協
	9日	長沼町常勤者会議	於 町 内
	10日	クリーンライス現地研修会(町内3カ所)	於 生産者圃場
	11日	旗の波街頭啓発	於 町 内
	11日	小麦下見指導開始	於 中央検査場他
	14日	監事会	於 農 協
	14日	理事会	於 農 協

「売れる」ヒントをお届け!



購読料 1カ月 (税込み) **本紙 2,980円**
電子版 2,403円

●購読のお申し込みはJAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

2025年8月号 No.378

ながぬま

JAながぬま 広報誌

〒069-1393

夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号

発行/ながぬま農業協同組合営農部営農企画課

TEL 0123-88-2226 FAX 0123-88-4113

URL <http://www.ja-naganuma.or.jp>

今月の組合員数

組 合 員 1,488名(－3)
正 組 合 員 777名(±0)
准 組 合 員 711名(－3)
正組合員戸数 590戸(±0)

※括弧内は前月比